

吹田市立図書館メールマガジン

Vol. 413 2024. 12. 10

12月21日は最も昼が短い日、冬至です。冬至は太陽が復活する日として世界各地にお祝いする風習があり、西洋のクリスマスもその影響を受けていると言われています。日本では健康を願って、この日にかぼちゃを食べたり、ゆず湯に入ったりする風習があります。日照時間が長くなっても寒さの本番はこれからです。湯船にゆっくりつかって身体を温めるなど、体調管理に気をつけましょう。

-----<< 目 次 >>-----

- \* 図書館インフォメーション
- \* 本の紹介<蔵出し一冊>
- \* 観る・聴く・読む<すいぽんセレクション>
- \* 郷土の本だなくピックアップすいた>
- \* 月間予約ランキング(文芸)
- \* 休館(室)日のお知らせ

- 
- 図書館インフォメーション
- 

《年末年始休館のお知らせ》  
令和6年(2024年)12月28日(土曜日)から令和7年(2025年)1月4日(土曜日)まで、市内の図書館は休館します。

なお、北千里図書館は令和6年(2024年)12月24日(火曜日)、12月29日(日曜日)から令和7年(2025年)1月4日(土曜日)まで休館します。

- \* 中央図書館の休館日には、自習室も休室します。
- \* 休館中は返却ポストにお返しください。ただし、山田分室ではCD・DVDを返却ポストには入れず、開館時間中に館内の自動返却機にお返しください。

- 
- 本の紹介<蔵出し一冊>
- 

図書館職員が今までの読書体験の中から紹介する珠玉の1冊!

『華氏451度』レイ・ブラッドベリ/著(早川書房)  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1102131663>

70年前に書かれた古典SFだが、まるで現代社会を描写しているかのようだ。本の所持や読書が禁止されている架空の世界が舞台。モンターグは本を燃やす昇火士(ファイアマン)の仕事に誇りを持っていたが、「本には何か力がある」と気づき始める。そんな彼にペイティー隊長は「いかに本が無力であるか」を力説する。一見、対立している二人だが、ペイティーの方が書物の持つ力を信じていたのではないかと感じた。(海)

↓↓<蔵出し一冊>のバックナンバーはこちらへ!↓↓  
[https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page\\_id=174](https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=174)

- 
- 観る・聴く・読む <すいぽんセレクション>

■□-----

令和7年（2025年）に建替えのための休館を発表している帝国劇場。休館前最後のミュージカルとして『レ・ミゼラブル』の上演が予定されています。多くのミュージカル俳優が、一度は出演したいと憧れる作品『レ・ミゼラブル』を色々な資料で味わいましょう。

【図書】『世紀の小説『レ・ミゼラブル』の誕生』デイヴィッド・ベロス／著（白水社）  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1102523769>  
執筆過程から作品の背景となる世界経済まで、19世紀のフランス社会を浮き彫りにしながら多面的に読み解いた一冊。

【図書】『レ・ミゼラブル 1 ファンテーヌ』ヴィクトール・ユゴー／著（平凡社）  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1102646832>  
原作を読むことにより、それぞれの登場人物の背景などさらに立体的に知ることができます。全5巻。

【図書】『レ・ミゼラブル』ヴィクトル・ユゴー／原作、リュック・ルフォール／再話、ジェラルド・デュボワ／絵（小峰書店）  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1101879754>  
ジェラルド・デュボワの挿絵により、当時の民衆が虐げられ陰鬱とした時代背景がよくあらわれています。大人も楽しめる絵本です。

【DVD】『レ・ミゼラブル』トム・フーパー／監督  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1301616236>  
ファンテーヌ役にアン・ハサウェイ、ジャン・バルジャン役にヒュー・ジャックマンをむかえて2012年に映画化。何もかも失った末に「I dreamed a dream」を歌うファンテーヌの姿は、涙無くしては見られません。

【CD】『レ・ミゼラブル サウンドトラック』  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1301615324>  
上記映画のサウンドトラック盤です。音楽を聴くだけで、数々の名場面が蘇ります。

↓↓図書館の特設情報は、公式Facebookへ↓↓  
<https://www.facebook.com/pages/吹田市立図書館/100426516810969>

■□-----

□■郷土の本だなくピックアップすいた>

■□-----

### 《約50年ぶりの大相撲巡業》

令和6年（2024年）12月14日（土）、「大相撲吹田万博場所」が開催されます。吹田市での大相撲巡業は約50年ぶりとのこと。さらにその昔には、吹田出身の力士が活躍した時代がありました。松の音（まつのおと）善蔵は明治時代に活躍した内本町出身の力士で、当時の最高位・大関にまでのぼり詰めました。惜しくも30歳という若さで亡くなりました。

『石の声碑の語り セピア色の写真から 続』[鍋島敏也／文]、吹田市市長室広報課／編集（吹田市市長室広報課）  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1101024206>  
昭和29年（1954年）11月にも相撲の巡業が行われ、現在のメイシアターに当たる場所で2万人もの観客を動員したそうです。その時の様子が写真におさめられています。また、明治時代に活躍した吹田出身の力士「松の音善蔵」の墓碑が紹介されています。

『ハッケヨイ吹いた吹いた！吹田の風』古谷啓伸／著（吹田市立中央図書館（製作））  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1101124751>  
※『大阪春秋 第91号、第92号』（1998年刊）より抜粋して、電子複写・製本したもの。

明治時代に活躍した吹田出身の力士、松の音善蔵と小柳常吉が紹介されています。かつて大相撲が東京相撲、大阪相撲、京都相撲に分かれていた頃に、それぞれ大阪相撲と京都相撲で大関として活躍しました。

『わたしたちの町』（吹田市立図書館（製作））  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1101017114>  
※「市報すいた No.422～459」（昭和54年10月25日～昭和56年6月10日号）に連載されたものを複写、製本したものを。  
松の音善蔵について、親族の方のエピソードが紹介されています。

↓↓<ピックアップすいた>のバックナンバーはこちらへ！↓↓  
[https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page\\_id=410](https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=410)

■□-----  
□■月間予約ランキング（文芸）  
■□-----

- 1位『架空犯』東野圭吾／著（幻冬舎）
- 2位『小鳥とリムジン』小川糸／著（ポプラ社）
- 3位『気の毒ばたらき』宮部みゆき／著（PHP研究所）
- 4位『婚活マエストロ』宮島未奈／著（文藝春秋）
- 5位『生殖記』朝井リョウ／著（小学館）
- 6位『禁忌の子』山口未桜／著（東京創元社）
- 7位『宙わたる教室』伊与原新／著（文藝春秋）
- 8位『あさ酒』原田ひ香／著（祥伝社）
- 9位『成瀬は天下を取りに行く』宮島未奈／著（新潮社）
- 10位『迷惑な終活』内館牧子／著（講談社）

■□-----  
□■休館（室）日のお知らせ  
■□-----

≪全館休館日（北千里図書館以外）≫  
12月28日（土曜日）～1月4日（土曜日）

≪北千里図書館休館日≫  
12月24日（火曜日）  
12月29日（日曜日）～1月4日（土曜日）

\* 中央図書館の休館日には、自習室も休室します。  
\* 休館中は返却ポストにお返しく下さい。ただし、山田分室ではCD・DVDを返却ポストには入れず、開館時間中に館内の自動返却機にお返しく下さい。

=====

・次号は令和6年（2024年）12月25日配信予定です。  
・ご意見、ご感想、お問い合わせは  
<[https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page\\_id=141](https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=141)>まで。  
・メールマガジンの配信登録・変更・解除は、図書館ホームページ<Myライブラリ>からお願いします。

↓↓<メールマガジン>のバックナンバーはこちらへ！↓↓  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/winj/opac/switch-detail-iccap.do?bibid=1600000001>  
\* 2021年4月以降分。パソコン対応となります。

=====

編集・発行：吹田市立図書館  
Copyright 2007 Suita Library  
掲載内容を転載転送される場合は、図書館までお知らせください。  
ホームページアドレス  
<https://www.lib.suita.osaka.jp/>  
公式X（旧Twitter）

[https://x.com/suita\\_toshokan](https://x.com/suita_toshokan)

12月のテーマは「川」。あわただしい師走の息抜きに、川沿いの散歩はいかがですか？実際の川辺は今は寒いので、今月は川に関する本を集めました。身近な糸田川や淀川だけでなく、本の中では海外の大河も楽しめますよ。

公式Facebook

<https://www.facebook.com/pages/吹田市立図書館/100426516810969>